

妖怪アパートの 幽雅な日常

著/香月 日輪

交通事故で両親を亡くし、叔父一家の元に身を寄せている稲葉夕士は、早く大人になりたい、と寮のある商業高校に進学する。しかし入学直前に寮で火災が発生。途方に暮れる夕士が不動産屋に紹介されたのは『妖怪アパート』と呼ばれるボロアパートだった。

「君の人生は長く、世界は果てしなく広い。肩の力を抜いていこう。」

現実では味わえないスリルの多いファンタジーな世界を楽しんでみませんか。主人公が見たことのないもの、想像もしなかったものと遭遇してどう変わっていくのか、ページから目が離せなくなる本です。力を抜いて、視界を広げてみませんか。

